

教科名		社会(歴史的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)	
調査の観点		発行者名	東京書籍	教育出版
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・1単位時間の授業ごとに学習課題や学習の流れが明確に示されており、学習の見通しが立てやすい。 ・1単位時間ごとに「チェック」があり、基礎的・基本的な学習内容について確認できる。また、単元のまとめで「確かめよう」があり、学習した用語の確認とまとめを通した知識の確認を行うことができる。	・1単位時間ごとの「確認」で学習したことを振り返るとともに単元ごとの「学習のまとめと表現」では、本単元で身に付けた知識と技能について確認することができる。 ・各単元にある「歴史と技」では、歴史学習の基本的な技能を身に付けることのできる構成となっている。	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・「みんなでチャレンジ」や「スキル・アップ」などの学習課題を通し、主体的・対話的な学びから深い学びにつなげ、課題解決的な学習を進めることのできる工夫がなされている。 ・各章は「①課題をつかむ」→「②課題を追究する」→「③課題を解決する」という構成になっており、課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力を養うことのできる構成となっている。	・「TRY！」は、学習を深めたり、歴史から学んだことを生かして今の社会の課題を解決するための思考力や判断力、表現力を養うことができる。 ・各章の導入やまとめでは時代を大観したり、時代と時代の比較をしたりすることで、より「歴史的な見方・考え方」を働かせることができるよう、年表や地図資料を示している。	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものにしているか。	・資料には「見方・考え方」を働かせる視点の例を示したマークがあり、第1節では「歴史的な見方・考え方」について説明されており、資料について歴史学習で着目する視点が明確になっている。 ・単元ごとに「QRコンテンツ」が多数あり、毎時間の学習や個別学習や協働的な学びに活用できる。	・「LOOK！」によって、追究のきっかけとなる視点を提示するとともに「私たちの生きる時代」では現代の諸課題を掲載している。 ・単元の導入にデジタルコンテンツがあり、個別学習や協働的な学びに活用できる。	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・巻頭には「持続可能な社会の実現に向けて」が設けられている。また、「もっと知りたい」「未来にアクセス」などの特設ページにおいて、ESDやSDGs関係の記載が見られる。	・巻末の「歴史学習の終わりに」では、SDGsの17の目標を参考にしながら、現在と未来について考察・構想し、表現する活動が取り上げられ、歴史学習で学んだことを生かす構成となっている。	
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・単元の導入では、「みんなでチャレンジ」として、協働的な活動や探究課題について着目する視点が設定されており、主体的・対話的な学びを進めるような便宜が図られている。また、「もっと知りたい」では、生徒自らが学習を進めやすい構成になっている。	・巻末の「TRY！」において、例えば、「歴史ゲームで遊ぼう」では、小学校の歴史学習と関連させ、生徒が関心をもって学習するような便宜が図られている。また、歴史学習を振り返って確認できるページがあり、時代の転換点や特色について考え、生徒自ら学びに向かう力を高められるような構成になっている。	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・巻頭の「持続可能な社会の実現に向けて」や「もっと知りたい」などの特設ページにおいて、多摩市が推進するESDやSDGsにも関わる記載が見られる。	・「歴史を探ろう」などの特設ページや巻末の「歴史学習の終わりに」において、多摩市が推進しているESDやSDGs関係の記載が見られる。	

教科名		社会(歴史的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		発行者名	帝国書院
			山川出版社
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各時間の「確認しよう」では、本文から重要事項を書き出す作業を通して、基礎的・基本的な学習内容を確認できる。 ・「説明しよう」では、授業の振り返りを文章で書くことのできるような活動が設定されており、知識の確認をすることができる。	・各章に「まとめ」があり、学習内容を整理でき、基礎・基本の確実な定着を図る工夫がされている。 ・「用語解説」では意味の分かりにくい言葉について説明し、学習内容の定着に向けた一助となっている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・歴史的分野の発展事例を紹介する「歴史プラス」や「技能をみがく」などの学習課題を通して、思考力や判断力、表現力を養うことができる工夫がされている。 ・考えを整理する方法として、多様な思考ツールが示されており、思考力を育成する工夫がされている。	・各単元ごとの「歴史を考えよう」では、生徒同士で取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ工夫がされている。 ・1単位時間ごとに写真やグラフ、コラムなどと関連して、考える課題や「ステップアップ」で理解を深める課題が示されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・各時代の特色や世界とのつながりを理解できるように章や節の始めにイラストや地図が掲載されている。 ・単元ごとに本文の内容に関連する「QRコンテンツ」が示されており、生徒の関心を高める工夫がされている。	・「歴史へのアプローチ」では、時代に即応した地域やテーマについての特集ページがあり、理解を深めていく工夫がされている。 ・写真資料が豊富で、臨場感があり、生徒の興味・関心を引き寄せる一助となっている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・巻頭の「未来に向けて よりよい社会を目指して」においてSDGsについて取り上げられている。また、「アクティブ歴史AL」や「未来に向けて」で特設ページが設けられ、持続可能な社会づくりについて考えることのできる工夫がされている。	・「現代の日本と世界」のまとめとして、現代社会で起きている課題やその解決策を、SDGsと関連させて記述する課題があり、持続可能な社会づくりについて考えることができる。
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「タイムトラベル」や「アクティブ歴史AL」などの学習課題を通して、主体的に学習を進めるような便宜が図られている。また、「QRコンテンツ」で、まとめのワークシートを活用し、学習内容の定着を図る工夫がされている。	・「身近な地域を調べよう」において、フィールドワークやプレゼンテーションの方法をイラストを交えながら示されていて、生徒が主体的に学習を進めやすくなっている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・第5章の近代を扱う単元では、「歴史を探ろう」で多摩地区の製糸業に関するページが設定されており、地域の歴史学習に活用することができる。	・「身近な地域を調べよう」で、地域学習の方法が6ページにわたり詳しく解説されており、特に地域での博物館の調査やフィールドワークを重視しており、多摩市の歴史を調べる際にも活用できる。

教科名		社会(歴史的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		発行者名	
		日本文教出版	育鵬社
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各時間の「確認」や各単元の「まとめとふり返し」において自分の学習の振り返りを行うことで、基礎的・基本的な内容の学習が確認できる。 ・歴史の確かな理解と技能を習得できるように、基本用語の解説や、「スキルUP」という情報を活用する際の一助となるページが用意されている。	・各時間の「確認」で、学習課題に対応した振り返りを行うことで、基礎・基本の確実な定着を目指した工夫がされている。また、単元ごとの導入やまとめの項目が充実している。 ・「鳥の目で見ると」では、各時代を大観し、「虫の目で見ると」では、それ以前の時代とも比較しながら、世界の歴史を踏まえて日本の歴史の理解につなげられる。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・各単元において、写真やグラフ、コラムなどと関連して考える課題としての「学習課題」や理解を深める課題の「確認」「表現」が示されている。 ・「チャレンジ歴史」では、資料を用いて考え、対話する課題が設定されている。	・導入資料と学習課題が示され、1単位時間ごとに「探究」という学習内容を説明する活動が設けられている。 ・「見方・考え方」「資料活用」「TRY！」などのコーナーは、思考力・判断力・表現力の育成に関する配慮や工夫がされている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・「歴史を掘り下げる」において、時代に即応したテーマについて7つの特集ページがあり、現代の写真資料を用いた解説がある。 ・見開きごとに本文に関する「QRコンテンツ」が示されており、生徒の関心を高める工夫がされている。	・各単元にある「資料活用」のコーナーで、本文の内容に関連する資料についての問いが設定されている。 ・目次に二次元コードが示されており、生徒の関心を高めたり、個別で調べることのできる構成となっている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・巻頭にSDGsが示され、教科書の構成が、持続可能な社会づくりに関わる未来を考えることが意識されている。「先人に学ぶ」などでも東日本大震災の事例を挙げ、SDGsを関連付けている。	・「これからの世界と日本」において、SDGsについて取り上げ、様々な課題を抱える現代の日本や世界において、日本の果たすべき役割を考える課題が設定されている。
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「身近な地域の歴史の探究」において、テーマの決定・課題の調査・考察とまとめのそれぞれの探究のプロセスを具体的に示し、主体的に学習を進めるような便宜が図られている。	・「歴史ズームイン」では、本文ページで学習した内容について、より深めるための解説や、別の見方を示すための資料が紹介され、生徒が主体的に学習を進めやすい構成になっている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・「でかけよう！地域調べ」では、「多摩地域の空襲を調べる」活動として、多摩地域であった空襲の調査や考察の方法が取り上げられ、多摩市との関連を図ることができる。	・「身近な地域の歴史の調べ方」などで、生徒の活動や調査レポートの例示があり生徒が主体となって地域学習を進めるような便宜が図られ、多摩市の地域の歴史学習に活用できる。

教科名		社会(歴史的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		自由社	学び舎
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・1単位時間ごとに学習課題が明確に示されており、学習の見通しが立てやすい。 ・「歴史の言葉」や「知っ得ポイント！」という用語の解説や大単元ごとの「復習問題ページ」があり、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができる。	・1単位時間ごとにタイトルや学習課題が明確に示されており、見通しを立て学習を進めることができる。 ・大単元の扉ページには学習内容に関連する資料解説や単元を貫く学習課題があり、また、「章をふりかえる」では基礎的・基本的な内容の学習ができる。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・課題解決の学習の中で、歴史学習における思考力・判断力・表現力や資料活用能力を育むために、「人物を通して時代をとらえる」「調べ学習のページ」などコーナーが豊富に設けられている。 ・「チャレンジ」という単元を学習した後、挑戦したいワンポイントの課題学習がある。	・課題解決の学習の中で、歴史学習における思考力・判断力・表現力や資料活用能力を育むために、「歴史を体験する」「実験」などコーナーが豊富に設けられている。 ・1単位時間ごとに導入資料と学習課題が示され、課題解決的な学習を進めやすい。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・写真資料や文献資料が、学習する時代に即応したものになっており、解説内容も適切である。 ・「もっと知りたい」において、時代に即応したテーマについての特集ページがあり、理解を深めていく工夫がされている。	・写真資料や文献資料が、学習する時代に即応したものになっており、解説内容も適切であり、章の扉では時代を概観する資料が豊富にある。 ・単元ごとに時代に即応したコラムがあり、理解を深めていく工夫がなされている。また、大単元ごとに「歴史を体験する」という調べ学習がある。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・巻頭に日本のユネスコ世界文化遺産が示されている。また、「人物にクローズアップ」や「もっと知りたい」などのコラムにおいて、SDGsにつながる内容が示されている。	・「現代の日本と世界」において、SDGsとの関連のある内容が取り扱われている。また、その大単元のまとめ「国際社会の課題を考えよう」は、SDGsと結び付けて考える課題が設定されている。
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・単元ごとに「調べ学習のページ」や「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」などがあり、主体的に学習を進められるような便宜が図られている。	・見出しが学習内容を特徴的に表した表現で工夫されている。また、「歴史を体験する」や「学習のまとめ」などがあり、学習を振り返りながら、主体的に学習を進められるような便宜が図られている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・単元「二つの世界大戦と日本」において、「疎開児童と東京大空襲」のコラムがあり、他の地域との比較を通じて、多摩地域の学習に結び付けることができる。	・「近代国家へと歩む日本」において、「郷学校から公立小学校へ」「五日市憲法」などから、他地域との比較や関連を通じて、多摩地域の学習に結び付けることができる。

教科名		社会(歴史的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		発行者名	令和書籍
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・1単位時間ごとに学習課題が設けられ学習の見通しが立てやすい。 ・用語の解説や時代ごとに「まとめ学習」として「時代ごとの特色をとらえよう」があり、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることができる。	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・課題解決型の学習の中で、歴史学習における思考力・判断力・表現力や資料活用能力を育むために、「field work」「考えよう」などコーナーが豊富に設けられている。 ・1単位時間ごとに学習課題と関連資料が示されるとともに、「考えよう」で調べたり、考えたりする活動が設定されている。	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものにしているか。	・写真資料や文献史料が豊富であり、学習する時代に即応したのものになっており、解説内容も適切である。また、人物画像も豊富である。 ・単元ごとに時代に即応したテーマについての特集ページには、写真と共にコラムがあり、理解を深めていく工夫がされている。	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・「現代」において、持続可能な社会についての記述と、それと関連した「考えよう」があり、ESDの視点をもって学習することができる。また、各単元のコラムもSDGsと結び付けることができる。	
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「考えよう」や「歴史について議論しよう」「ディベートをしてみよう」「field work」などの調べ学習が設けられており、主体的に学習を進められるような便宜が図られている。	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・「現代」において、高度経済成長や公害や少子高齢化問題についての記述などから、他地域との比較を通じて、多摩地域の学習に結び付けることができる。	